

第4章 施策の方向性

1. 見直し後の目標指標と実施関連事業

【推進目標1 健（検）診で病気の芽を発見しよう】

☆新規目標指標

目標指標	策定時の値	現状値	目標値（見直し後）	データソース	
各種がん検診の受診率の向上	胃がん検診 (H24年度)	4.0%	9.0%	12%	半田市がん検診受診率
	子宮頸がん検診 (H24年度)	14.1%	21.8%	25%	
	乳がん検診 (H24年度)	11.0%	17.7%	22%	
	肺がん検診 (H24年度)	12.7%	11.7%	20%	
	大腸がん検診 (H24年度)	31.7%	34.2%	45%	
国民健康保険特定健診の受診率向上	50.8% (H23年度)	55.8% (H28年度)	62%	半田市国保特定健診受診率	
☆定期的な健診を受けている人の増加		86.6% (H30年度)	95%	第6次半田市総合計画市民アンケート	

（実施関連事業）

No	事業名	事業内容	担当課
1	がん検診	①肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん等、各種がん検診及びがんセット検診を半田市医師会健康管理センター及び市内医療機関にて行う。（市7割助成で自己負担金は3割程度）	保健センター
		②子宮頸がん、乳がんについて、国の検診推進事業に基づいて無料クーポン券を対象者に発行する。	
		③国民健康保険特定健診に合わせて、がん検診の同時受診を周知する。	国保年金課 保健センター
		④がん検診精密検査未受診者を対象に、受診勧奨通知を送る	保健センター
		⑤国民健康保険被保険者で胃がん検診を受ける方に1,100円の補助を行う。（自己負担1,000円）	国保年金課
2	がん予防の推進	①10月をがん検診推進月間とし、市報やホームページなどでがん検診やがん予防について呼びかける。また、肝炎ウイルス検査*やピロリ菌検査*などがん予防検査の普及啓発を行う。	保健センター

		②国民健康保険被保険者の、40、45、50、55、60、65歳の方を対象にピロリ菌検査*（自己負担1,500円）を実施するとともに、胃がん予防につながるピロリ菌検査の普及啓発を行う。	国保年金課
3	乳幼児健康診査	疾病や障がいの予防と早期発見のため、身体測定や小児科医の診察、歯科医師の歯科健診、保健師等による保健指導を実施する。	保健センター
4	園児の健康管理	園児の肥満等の疾病や障がいの早期発見のため、内科健診・身体測定等を行う。	幼児保育課 学校教育課
5	児童生徒の健康管理	児童生徒の疾病や障がいの早期発見のため、内科検診・身体測定等を行う。	学校教育課
6	住民健康診断	①39歳以下の市民に対し、生活習慣病、結核や胸部疾患の早期発見、早期治療のため、胸部レントゲン、血液検査、尿検査等を行う。	保健センター
		②40歳以上の市民に対し、結核や胸部疾患の早期発見、早期治療のため、胸部レントゲン検査を行う。	
		③健診結果に応じて、必要な保健指導を行う。	
		④35歳～39歳の国民健康保険被保険者に対して個別勧奨通知送付	保健センター 国保年金課
7	国民健康保険特定健診・特定保健指導・保健指導	①40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対し、メタボリックシンドローム*に着目した特定健診を行う。	国保年金課
		②特定健診結果により、メタボリックシンドロームに対する特定保健指導を行う。	
		③特定健診結果により、慢性腎臓病予防のための保健指導を行う。（非特定保健指導対象者含む）	
		④特定健診未受診者への特定健診受診勧奨通知を送付するとともに、電話による勧奨を行う。	
		⑤特定健診結果が医療受診勧奨値以上の方に病気の早期治療を勧める通知を送付する。	
8	身体障がい者健康診査	日常生活において常時車いすを使用している方を対象に生活習慣病等の早期発見、早期治療のため血液検査等を行う。	保健センター
9	後期高齢者医療制度*の健康診査	生活習慣病を早期に発見し、重症化を予防するため、愛知県後期高齢者医療広域連合から委託を受け健康診査を行う。	国保年金課
10	はんだ健康マイレージ*	あいち健康マイレージ*との協働で、行政と企業などの連携により社会全体で個人の健康を支える環境整備と個人が主体的に健康づくりに取り組むきっかけづくりを行う。	保健センター

【推進目標 2 血液サラサラで若々しい血管を保とう】

☆新規目標指標

目標指標		策定時の値	現状値	目標値（見直し後）	データソース
心疾患の人口 10万対死亡率 の減少	男性	133.7 (H23)	143.2 (H28)	120	愛知県衛生年報
	女性	156.8 (H23)	164.5 (H28)	145	
☆高血圧症保有者率*の 減少		—	20.4% (H28)	17%	国保 AICube*
☆メタボリックシンドロ ーム該当者の減少		—	24.3% (H28)	20%	国保 AICube メタボ該当者割合
国民健康保険特定保健指 導の指導終了率の向上		18.8% (H23 年度)	28.5% (H28 年度)	45%	半田市国保特定健診 保健指導終了率
☆子育て中（3 歳児）の家庭に おける喫煙率の 減少	父親	—	38.0% (H29 年度)	25%	3 歳児健診問診票
	母親	—	8.3% (H29 年度)	3.5%	
☆健康づくりに取り組ん でいる人の増加		—	72.9% (H30)	90%	第 6 次半田市総合計 画市民アンケート

（実施関連事業）

No	事業名	事業内容	担当課
1	健康情報の 発信	市報や自治区の見聞、市役所や図書館にて、健康に関する 情報や季節に合わせた病気の予防と健康づくりに関する情報 を発信する。	保健センター
2	親子に対する 教室	①離乳食講習会 4～5か月頃の離乳食開始から 1 歳頃までの発育にあった 食材の選び方、薄味に調理するポイントなど離乳食に関する 講座を開催する。	保健センター
		②もぐもぐ教室 栄養士による、生後 7～10 か月頃の離乳食期の食材の選 び方、献立の広げ方、肥満予防など、将来の生活習慣病予防 も踏まえた食事に関する講座を開催する。	子育て支援課
		③レッツトライ 1・2・3 健康運動指導士*などの講師により、親子で身体を動かす楽 しさを伝える。	
		④健康体操・親子ヨガ・トランポリン 講師または、スポーツ推進委員より指導をし、身体を動か す楽しさを伝える	

3	児童生徒に対する健康教育	市内小中学校と協働し、生活リズムや食事など生活習慣に関する情報を保健だよりに掲載する。また、生活習慣などの健康に関する講座を開催する。	保健センター 学校教育課
4	成人・高齢者に対する健康教育	①健康講演会 医師、歯科医師等により、疾病予防に関する正しい知識や最新の情報を普及する。	保健センター
		②地域からの依頼による健康講座 公民館ふれあい事業や自治区の行事と協働し、健康に関する講話、体操、料理教室など実技も含め開催する。	保健センター 市民協働課 生涯学習課
		③健康栄養教室 生活習慣病予防のための食生活の工夫等について調理実習を含めて開催する。	保健センター
		④健康づくりボランティア養成講座 生活習慣病の理解や予防に関する正しい知識、実践法に関する講座を開催する。講座修了後に、健康サポーターとして登録し、健康づくり実践者とする。	
		⑤食生活改善推進員養成講習会・育成研修 食生活改善推進員として必要な、栄養面を主とする健康に関する養成講座を開催する。また、活動に必要な最新情報等を育成研修で行う。	
		⑥地域からの依頼による高齢者に対する健康・介護予防講座 地域の老人クラブや地域ふれあい会の依頼により、季節に応じた健康管理や介護予防に関する講話や健康測定を行う。	
		⑦高齢者に対する健康・介護予防講座 高齢期に特徴的な疾病・介護予防のための正しい知識や実践法を、健康測定や講話、実技で学ぶ。	
5	乳幼児健康診査 (再掲)	疾病や障がいの予防と早期発見のため、身体測定や小児科医師の診察、歯科医師の歯科健診、保健師等による保健指導を実施する。	保健センター
6	園児の健康管理 (再掲)	園児の肥満等の疾病や障がいの早期発見のため、内科健診・身体測定等を行う。	幼児保育課 学校教育課
7	児童生徒の健康管理 (再掲)	児童生徒の疾病や障がいの早期発見のため、内科健診・身体測定等を行う。	学校教育課
8	住民健康診断 (再掲)	①39歳以下の市民に対し、生活習慣病、結核や胸部疾患の早期発見、早期治療のため、胸部レントゲン、血液検査、尿検査等を行う。	保健センター
		②40歳以上の市民に対し、結核や胸部疾患の早期発見、早期治療のため、胸部レントゲン検査を行う。	
		③健診結果に応じて、必要な保健指導を行う。	

		④35歳～39歳の国保被保険者に対して個別勧奨通知送付	保健センター 国保年金課
9	国民健康保険特定健診・特定保健指導・保健指導 (再掲)	①40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対し、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を行う。 ②特定健診結果により、メタボリックシンドロームに対する特定保健指導を行う。 ③特定健診結果により、生活習慣病(慢性腎臓病・糖尿病・高血圧等)予防のための保健指導を行う。(非特定保健指導対象者含む) ④特定健診未受診者への特定健診受診勧奨通知を送付するとともに、電話による勧奨を行う。 ⑤特定保健指導対象者及びその家族に生活習慣の改善を図るため、運動・食生活の実践指導であるヘルシーライフ講座、血管年齢測定、個別相談等を開催する。	国保年金課
10	後期高齢者医療制度の健康診査 (再掲)	生活習慣病を早期に発見し、重症化を予防するため、愛知県後期高齢者医療広域連合から委託を受け健康診査を行う。	国保年金課
11	子どもの食事の相談	就学前の子どもを持つ保護者に栄養士より離乳食期から幼児食の好き嫌いや小食、肥満予防など、子どもの食事に関する個別相談を行う。	子育て支援課
12	健康相談	①地域からの依頼による健康相談 地域の行事(区民展等)で健康測定を行う。 ②個別健康相談 保健師、栄養士、歯科衛生士による個別相談を行う。	保健センター
13	訪問指導	①住民健診やがん検診の結果から、受診勧奨や生活習慣の見直しが必要な方へ、家庭訪問により保健指導を行う。 ②国民健康保険特定健診結果から、保健指導(慢性腎臓病予防・糖尿病性腎症重症化予防訪問等)が必要な方へ家庭訪問による保健指導を行う。	保健センター 国保年金課
14	市民ボランティアとの健康づくり推進	①半田市健康づくり連絡協議会 健康体操をとおして、健康増進の普及活動を行う。 ②半田市食生活改善推進員連絡協議会 食生活の向上を推進し、健康増進の普及活動を行う。 ③半田市健康サポーター 健康づくりを学び、自らも実践しながら、保健センター事業への支援を行う。	保健センター

15	小学生の身体づくり活動	<p>小学生を対象に地域の方と関わりながら、スポーツ大会を行いスポーツの楽しさを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ大会 ・サッカー教室 ・卓球教室 ・ドッチボール大会 ・ハンドベースボール大会 ・バレーボール教室 ・ニュースポーツ教室 ・カローリング教室 	子育て支援課
16	スポーツプログラム	<p>市民が気軽にスポーツに親しむことができ、また、スポーツを行っていない市民がスポーツに取り組むきっかけづくりとなるようなプログラムを実施する。</p> <p>①スポーツ大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆半田市体育大会（半田祭） ◆半田市民体育大会 ◆はんだシティマラソン <p>②スポーツ教室等</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆親子のスポーツ教室 ◆弓道教室 ◆ヨット教室 ◆ニュースポーツ教室 ◆ニュースポーツイベント ◆水泳教室 ◆シェイプアップ教室 ◆アクアビクス教室 	スポーツ課
17	各種団体とのスポーツの推進	<p>①半田市体育協会 体育協会に加盟する団体を支援し、スポーツ大会の充実や、優秀選手の表彰など、スポーツへの関心を高める。</p> <p>②半田市スポーツ推進委員連絡協議会 身近な地域に出向いて行うニュースポーツ教室、各種イベントで行う体験教室を通じて、普及活動に取り組む。</p> <p>③総合型地域スポーツクラブ 地域スポーツ振興の核として、様々なスポーツ活動を行い、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりに努める。</p>	スポーツ課

18	農業を通じた食育の推進	①児童体験農業 農業に接する機会が少ない児童・園児に、稲作やイモ作りを体験させ、食の大切さや感謝する気持ちを学ぶ機会とする。	経済課
		②市民農園 農業と食への理解を深めるために、農業体験の場として、市民農園を開設する。	
		③農業講座 農業に関する知識や技術の習得を通して、地産地消の重要性を始めとした食育の推進を図る。	
		④食のフェスティバル 市内小学校において、食育推進の一環として、食の安全や地産地消についての講演や地元産の農畜産物を使用した調理実習を開催する。	
		⑤はんだふれあい産業まつり 地元商業、工業及び農業者の積極的な協力により、地域とのふれあい、地域消費の促進及び健全な産業育成を推進するために開催する。	
19	はんだ健康マイレージ（再掲）	あいち健康マイレージとの協働で、行政と企業などの連携により社会全体で個人の健康を支える環境整備と個人が主体的に健康づくりに取り組むきっかけづくりを行う。	保健センター
20	禁煙・受動喫煙防止の推進	①婚姻届出時において啓発を行う。	保健センター
		②母子健康手帳交付時で対象者には保健指導を行う。	
		③乳幼児健康診査で対象者には保健指導を行う。	
		④児童生徒に対し、たばこに関する教育を行う。	学校教育課
		⑤世界禁煙デー・週間において啓発活動を行う。 保育園・幼稚園・小中学校の保健だより等への掲載、市民課モニター、ホームページ等での啓発、市役所・図書館のコーナーで特集等を行う。	保健センター
		⑥住民健康診査において啓発および保健指導を行う。	国保年金課
		⑦国民健康保険特定健診保健指導や講座において啓発および保健指導を行う。	
		⑧公共施設等における受動喫煙防止の推進を目的とした「受動喫煙防止に関する会議」において関係課と連携して取り組む。	保健センター ※関係課

※関係課：環境課・総務課・都市計画課・学校教育課・幼児保育課・子育て支援課・半田病院管理課・生涯学習課・スポーツ課・観光課・市民協働課・地域福祉課・図書館博物館・新美南吉記念館・クリーンセンター

【推進目標3 口から健康づくりをはじめよう】

目標指標		策定時の値	現状値	目標値(見直し後)	データソース
妊婦歯科健診の受診率の向上		37.2% (H24年度)	41.3% (H28年度)	50%	半田市妊婦 歯科健診
1歳6か月児の甘いおやつと飲み物習慣の減少	甘いおやつ	45% (H24年度)	40.4% (H28年度)	30%	1歳6か月児健診 歯科問診票
	甘い飲み物	43% (H24年度)	41.3% (H28年度)	30%	
むし歯のない子どもの増加	3歳	85.5% (H24年度)	88.8% (H28年度)	90%	3歳児健診 歯科健診結果
	5歳児 (年長児)	60.4% (H24年度)	67.4% (H28年度)	70%	愛知県地域歯科 保健業務 状況報告
	12歳児 (中1)	66.7% (H24年度)	77.0% (H28年度)	80%	
歯周病検診受診率の増加		8.5% (H24年度)	14.7% (H28年度)	20%	半田市 歯周病検診
平均現在歯数の増加(永久歯は28本、親知らずを含め32本)	40歳	28.1本 (H18~23年度平均)	28.1本 (H28年度)	28.3本	半田市歯周病 検診結果
	50歳	27.1本 (H18~23年度平均)	27.9本 (H28年度)	28.1本	
	60歳	25.7本 (H18~23年度平均)	26.4本 (H28年度)	27.1本	
	70歳	22.4本 (H18~23年度平均)	23本 (H28年度)	25.7本	
かかりつけ歯科医のある人の増加		75% (H24年度)	71.6% (H28年度)	85%	「歯の健康づくり得点」集計

(実施関連事業)

No	事業名	事業内容	担当課
1	歯と口の健康週間	①市内4か所で半田歯科医師会による子どもから大人まで無料歯科検診と、乳幼児・小学生へのフッ化物歯面塗布を行う。 ②児童センター等にて、歯科衛生士や保健師がむし歯予防のための歯みがきや食事やおやつの工夫について、講話や個別相談を行う。	保健センター
2	妊婦歯科健診	妊娠中に悪化しやすい歯周病やむし歯予防、さらに低出生体重児の予防等のため歯科健診を行う。	保健センター

3	1歳6か月児・2歳児・3歳児歯科健診	むし歯や歯肉炎*の予防や早期発見、早期治療のため歯科健診・フッ化物歯面塗布・歯みがきやおやつの指導等を行う。	保健センター
4	園児に対する歯科健診	むし歯や歯肉炎の予防や早期発見、早期治療のため園児に歯科健診を行う。	幼児保育課 学校教育課
5	児童生徒に対する歯科健診	むし歯や歯肉炎の予防や早期発見、早期治療のため児童生徒に歯科健診を行う。	学校教育課
6	歯周病検診	30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の市民に歯周病検診を実施する。	保健センター 国保年金課
7	こんにちは赤ちゃん訪問にてむし歯予防セットの配布	民生委員・児童委員が生後2か月の赤ちゃんがいるすべての家庭を訪問し、出産祝いとして歯ブラシと歯みがきパンフレットを配布する。	保健センター
8	カミカミ教室	歯科衛生士による1歳前後の親子にむし歯予防の講座を開催する。	子育て支援課
9	保育園児及び保護者に対する講話	むし歯予防等のため歯科医師による講話とブラッシング指導を行う。	幼児保育課
10	幼稚園児及び小・中学生に対する歯科指導	むし歯予防等のため歯科医師による巡回指導を行う。	学校教育課
11	保護者の歯みがき指導	親世代のむし歯や歯周病予防のため、2歳児歯科健診の保護者に歯みがき指導を行う。	保健センター
12	歯科健康教育	①地域からの依頼による歯科健康講座 児童センターや公民館ふれあい事業、自治区の行事と協働し、子どもから成人期のむし歯や歯周病予防の講話や歯みがき指導、噛む力測定などを行う。 ②地域からの依頼による高齢者に対する健康・介護予防教育 地域の老人クラブやサロンなどの依頼により、口腔機能向上のための講話、健口体操、口腔機能測定を行う。	保健センター 生涯学習課 市民協働課
13	子どもの歯の相談	就学前の子ども及びその保護者に歯科衛生士よりむし歯予防や歯みがき方法の個別相談・指導を行う。	子育て支援課
14	個別歯科相談	妊婦から高齢者までの市民に対し、むし歯や歯周病予防等お口に関する個別相談・指導を行う。	保健センター
15	8020表彰	80歳以上で20本以上の歯がある方に表彰を行う。	保健センター

【推進目標 4 ゆっくり休息、楽しくリフレッシュ】

☆新規目標指標

目標指標		策定時	現状値	目標値(見直し後)	データソース
睡眠による休養が十分な人の割合の増加	特定健診受診者 全体	70% (H24年度)	71.9% (H29年度)	75%	半田市国保特定健診 健康かるて*
	40歳代	61.3% (H24年度)	63.6% (H29年度)	70%	
ストレスチェック*時にストレスが「ある」「だいぶある」と回答した人の割合の減少		29.7% (H23・24年度)	35.2% (H28・29年度)	20%	住民健診時等におけるストレスチェック問診票
唾液でのストレスチェックの結果が「ある」「だいぶある」人の割合の減少		54.9% (H23・24年度)	41.5% (H28・29年度)	35%	住民健診時等におけるストレスチェック結果
☆午後10時以降に就寝する子ども(3歳児)の割合の減少		—	24.7% (H29年度)	15%	3歳児健診問診票
☆自分のストレス対処法を持っているかの調査の実施		—	実施無	実施有	—

(実施関連事業)

No	事業名	事業内容	担当課
1	こころの保健室	本人や家族を対象に、心や体の不調や悩みについて気軽に相談できる「こころの保健室(保健師3回/月、臨床心理士1回/月)」を行う。	保健センター
2	心理相談員の個別相談	18歳までの子どもやその保護者に対し、育児や成長の過程における精神発達や心理面についての個別相談を行う。	子育て支援課
3	女性のための相談	様々な悩み事を抱える女性に対し、問題解決の糸口を見つける手助けとして相談を行う。	市民協働課
4	NPプログラム* 子育て講座	0~5歳の子どもを持つ親を対象に、親支援プログラム(Nobody's Perfect)を利用し子育て中の親同志で悩みや関心のあることを話し合いながら、自分に合った子育て方法を見つけ、育児ストレスの解消を行う。	子育て支援課
5	こころの健康講座	公民館等において、大学講師等を講師とし、こころの健康やセルフケア方法を学べる講座を開催する。	保健センター
6	ゲートキーパー* 養成講座	庁内職員や民生児童委員を対象とし、ゲートキーパーの理解や相談支援の研修を開催する。	保健センター

7	ストレスチェック	地域でのイベントでストレスチェックと保健師の相談を実施する。	保健センター
8	半田市いのち支える自殺対策推進協議会	庁内の関係各課が、自殺に係る課題や情報の共有及び自殺対策などについて連携し、総合的推進を図る。	保健センター
9	アルコールに関する知識の普及啓発	生活習慣病や精神保健の観点から、健康相談や健康教育、チラシ等で適切な飲酒に関する情報を提供する。	保健センター
10	学童期における相談事業	全小中学校へのスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの派遣や全中学校及び1小学校に心の教室相談員を配置し、生徒が気軽に相談できる環境を整える。	学校教育課
11	若年層向け相談事業	住民健康診断等、39歳以下の若年層が集まる機会にストレスチェックと健康相談を実施する。	保健センター
12	市民活動による心の相談の推進	市民活動団体が自身のスキルや資格を活かしながら、日々の暮らしの中のちょっとしたイライラ・もやもやの話をきいたり、大切な人・ものを失った方へのグリーンケア*等を行う。	市民協働課
13	レッツトライ1・2・3(再掲)	健康運動指導士などの講師により、親子で身体を動かす楽しさを伝える。	子育て支援課
14	おやっここ・ひよっこ	未就園の親子を対象に体操・手遊び・読み聞かせ等をし、親子で遊ぶ楽しさを伝える。	子育て支援課
15	乳幼児健康診査(再掲)	疾病や障がいの予防と早期発見のため、身体測定や小児科医の診察、歯科医師の歯科健診、保健師等による保健指導を実施する。	保健センター
16	小学生の身体づくり活動(再掲)	小学生を対象に地域の方と関わりながら、スポーツ大会を行いスポーツの楽しさを知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ大会 ・サッカー教室 ・卓球教室 ・ドッチボール大会 ・ハンドベースボール大会 ・バレーボール教室 ・ニュースポーツ教室 ・カローリング大会 	子育て支援課
17	スポーツプログラム(再掲)	市民が気軽にスポーツに親しむことができ、また、スポーツを行っていない市民がスポーツに取り組むきっかけづくりとなるようなプログラムを実施する。 ①スポーツ大会	スポーツ課

		<ul style="list-style-type: none"> ◆半田市体育大会（半田祭） ◆半田市民体育大会 ◆はんだシティマラソン ②スポーツ教室等 <ul style="list-style-type: none"> ◆親子のスポーツ教室 ◆弓道教室 ◆ヨット教室 ◆ニュースポーツ教室 ◆ニュースポーツイベント ◆水泳教室 ◆シェイプアップ教室 ◆アクアビクス教室 	
18	各種団体とのスポーツの推進 (再掲)	<p>①半田市体育協会 体育協会に加盟する団体を支援し、スポーツ大会の充実や、優秀選手の表彰など、スポーツへの関心を高める。</p> <p>②半田市スポーツ推進委員連絡協議会 身近な地域に出向いて行うニュースポーツ教室、各種イベントで行う体験教室を通じて、普及活動に取り組む。</p> <p>③総合型地域スポーツクラブ 地域スポーツ振興の核として、様々なスポーツ活動を行い、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりに努める。</p>	スポーツ課
19	農業を通じた食育の推進 (再掲)	<p>①児童体験農業 農業に接する機会が少ない児童・園児に、稲作やイモ作りを体験させ、食の大切さや感謝する気持ちを学ぶ機会とする。</p> <p>②市民農園 農業と食への理解を深めるために、農業体験の場として、市民農園を開設する。</p> <p>③農業講座 農業に関する知識や技術の習得を通して、地産地消の重要性を始めとした食育の推進を図る。</p> <p>④食のフェスティバル 市内小学校において、食育推進の一環として、食の安全や地産地消についての講演や地元産の農畜産物を使用した調理実習を開催する。</p> <p>⑤はんだふれあい産業まつり 地元商業、工業及び農業者の積極的な協力により、地域とのふれあい、地域消費の促進及び健全な産業育成を推進するために開催する。</p>	経済課

2. 計画の推進体制

本計画は、市民、地域、保健、医療、福祉の関係機関、教育機関、ボランティア団体、行政機関などが連携・協力して推進します。今回中間評価の結果、それぞれの取り組みを具体的に示した年間行程表を修正し、協働して健康づくりを実践していきます。

年間行程表

	健康づくり推進分野	行政機関における健康づくり関連事業
4月	生きがい・趣味・社会参加の推進	世界保健デー（WHO） 未成年者飲酒防止強調月間（厚生労働省）
5月	禁煙・受動喫煙防止	世界禁煙デー（WHO）
6月	歯と口の健康づくりの推進 特定健診普及啓発	歯と口の健康週間（厚生労働省・文部科学省・歯科医師会） 食育月間（農林水産省） 特定健診普及啓発月間（愛知県）
7月	熱中症予防	熱中症予防強化月間（環境省）
8月	食生活改善の推進	食品衛生月間（厚生労働省）
9月	生活習慣病予防	健康増進普及月間（厚生労働省） 食生活改善普及運動（厚生労働省） 自殺予防週間（厚生労働省）
10月	がん予防	がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間（厚生労働省） 乳がん月間（厚生労働省）
11月	運動・身体活動の推進	はんだスポーツの日（半田市） アルコール関連問題啓発週間（厚生労働省） 世界糖尿病デー（WHO）
12月	適正飲酒の推進	
1月	食育の推進	学校給食週間（文部科学省）
2月	メタボ予防	
3月	こころの健康の推進	自殺対策強化月間（厚生労働省） 女性の健康週間（厚生労働省）